

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-3	情報活用能力	SNSを安全に使うためにニセ情報・誤情報を知ろう	オクリンクプラス
授業内容	SNSを安全に使うために、ニセ情報・誤情報について理解する		
準備：	- 共有コードを使用して「課題説明カード」「発表資料用カード(4枚)」「振り返りカード」を取得する。 - みんなのボードを班の数用意する。 - 課題説明カードを子供たちのマイボードに送信する。 - 発表資料用のカード4枚を、全ての班のボードに送信する。		
授業の流れ：	1. マイボードに送られた「課題説明カード」を各自開き、内容を確認する。 2. 各自、「課題説明カード」のリンクから総務省のURLを開き、資料を読む。 参考資料：総務省「インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報に騙されないために～ 第2版」 https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojouhou/data/keihatukyouiku_big.pdf 3. 読み終わったら班になり、班ごとに、「クラスの人たちがニセ情報・誤情報を拡散することを防いだり、ニセ情報・誤情報にだまされないようにするためには」という観点で、「課題説明カード」に記載されている9つの中から1つテーマを選ぶ。 4. 選んだテーマについて参考資料やインターネットで調べ、わかったことを班のボードにある「発表資料用カード」にまとめる。 5. 班でまとめたことを全体で発表する。ほかの班の発表をメモをとりながら聞く。 6. 先生から「振り返りカード」を子供たちのマイボードに送信する。各自「振り返りカード」を入力して提出BOXに送信する。提出BOXを子供たちに公開し、全体で振り返りを伝え合う。		
サポートおすすめポイント	- 参考となるWebサイトのリンクを配信し、まずは参考資料から中心的な情報を読み取り、分からないことや関心があることを検索して補足の情報を追加するという進め方ができます。 「クラスの人々がだまされないように」という目的意識を持って調べたことをまとめたり、他の班の発表を聞いたりすることで、学習を自分事としてとらえることができます。		

課題説明カード

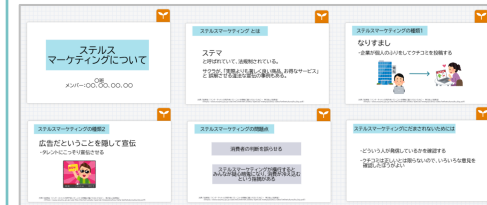
【調べる目的】
クラスの人たちがニセ情報・誤情報を拡散するのを防ぐ
クラスの人たちがニセ情報・誤情報にだまされないようにする

参考資料を読んでから、班で1つテーマを選び、調べたこと
(言葉の意味、問題点など)を発表しよう

参考資料: 総務省「インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報に騙されないために～ 第2版」

A ニセ・誤情報とは	B ニセ・誤情報はなぜ作られるのか?	C ステルスマーケティング
D 認知バイアス	E アテンションエコノミー	F ニセ・誤情報にだまされないためには?
G フィルターバブル	H ニセ・誤情報にだまされたらどうなるのか?	I 事実と意見について

発表資料用カードを利用して班で発表資料を作成した例


イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

振り返りカード（入力例）

振り返り

(1) 調べたテーマ
ステルスマーケティングについて

(2) 調べて分かったこと、考えたこと
「ステルス」は聞いたことがあったけれど、「ステルスマーケティング」のことだということが分かった。

(3) ほかの班の発表を聞いて分かったこと、考えたこと
インターネットには、信じてはいけないことがたくさんあることが分かった。情報をむやみに信じるのは危険なもので、もしかしたら嘘かもしれないと立ち止まることが大事だと気づいた。

共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む

pb01KTT29QM7C5C1J8ZF3N35B3JT

1. 課題説明カード

課題説明

【調べる目的】
 クラスの人たちがニセ情報・誤情報を拡散するのを防ぐ
 クラスの人たちがニセ情報・誤情報にだまされないようにする

参考資料を読んでから、班で1つテーマを選び、調べたこと
 (言葉の意味、問題点など)を発表しよう

参考資料:総務省「インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報に騙されないために～ 第2版」

総務省資料

A ニセ・誤情報とは	B ニセ・誤情報はなぜ作られるのか？	C ステルスマーケティング
D 認知バイアス	E アテンションエコノミー	F ニセ・誤情報にだまされないためには？
G フィルターバブル	H ニセ・誤情報にだまされたらどうなるのか？	I 事実と意見について

2. 班で調べる、資料にまとめる

ステルスマーケティングについて

〇班
メンバー:〇〇,〇〇,〇〇,〇〇

ステルスマーケティングの種類1

なりすまし
・企業が個人のふりをしてクチコミを投稿する

ステルスマーケティングの種類2

広告だということを隠して宣伝
・タレントにこっそり宣伝させる

ステルスマーケティングの問題点

消費者の判断を誤らせる

ステルスマーケティングが横行するとみんなが疑心暗鬼になり、消費が冷え込むという指摘がある

ステルスマーケティングにだまされないためには

・どういう人が発信しているかを確認する
・クチコミは正しいとは限らないので、いろいろな意見を確認したほうがよい

イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

3. 振り返りカード

振り返り

(1) 調べたテーマ
 ステルスマーケティングについて

(2) 調べて分かったこと、考えたこと
 「ステマ」は聞いたことがあったけれど、「ステルスマーケティング」のことだということが分かった。

(3) ほかの班の発表を聞いて分かったこと、考えたこと
 インターネットには、信じてはいけないことがたくさんあることが分かった。情報をむやみに信じるのは危険なので、もしかしたら嘘かもしれないと立ち止まることが大事だと気づいた。